

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

### 新規受託項目

- [50097] PD-L1 (SP263) 肺癌《IHC法》
- [50106] PD-L1 (28-8) 食道癌《IHC法》

### 受託開始日

- 2022年6月1日(水)



## PD-L1 (SP263) 肺癌《IHC法》

本検査はこれまで、切除不能な局所進行の非小細胞肺癌患者に対して抗PD-L1抗体「デュルバルマブ（商品名：イミフィンジ<sup>®</sup>）」の適切な投与を行う際の推奨検査（コンプリメンタリー検査）でしたが、適用拡大により、非小細胞肺癌患者における術後補助療法として抗PD-L1抗体「アテゾリズマブ（商品名：テセントリク<sup>®</sup>）」を投与する際のコンパニオン検査としてもご使用いただけるようになりました。

### 検査要項

項目コード	50097
検査項目名	PD-L1 (SP263) 肺癌《IHC法》* <sup>1</sup>
検体量	未染標本スライド 5枚 (4~5 $\mu$ m厚) * <sup>2, 3, 4</sup> [容器番号：20番]
保存方法	常温
検査方法	免疫組織化学染色
報告様式	TC 1%未満 TC 1%以上 判定不能 ※上記の病理判定と組織所見をご報告いたします。
所要日数	6~10日 * <sup>5</sup>
検査実施料	2700点 * <sup>6</sup> ([N005-3] PD-L1タンパク免疫染色 (免疫抗体法) 病理組織標本作製)
判断料	130点 (病理判断料)
備考	*1：ご依頼の際は、『病理組織 (特殊染色・免疫染色) 依頼書』をご利用ください。 *2：スライドは剥離防止コートスライドガラスをご使用ください。 *3：組織標本の固定は10%中性緩衝ホルマリンが推奨されています。 (推奨固定時間：6~72時間) *4：スライド枚数については、再検査用の検体も含んでいます。 *5：所要日数に再検査の日数は含まれません。また、パラフィンブロックでご依頼の場合は別途日数がかかる場合があります。 *6：抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤「デュルバルマブ」または「アテゾリズマブ」の投与の適応を判断することを目的として行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定できます。

## PD-L1 (28-8) 食道癌《IHC法》

本検査は、化学療法未治療の根治切除不能な進行・再発の食道癌患者に対して、抗PD-1抗体「ニボルマブ（商品名：オプジーボ®）」を含む併用療法の適応を判定するための補助検査です。

免疫組織化学染色（IHC法）により、食道癌組織検体におけるPD-L1の発現状況を調べます。

### 検査要項

項目コード	50106
検査項目名	PD-L1 (28-8) 食道癌《IHC法》*1
検体量	未染標本スライド 5枚(4~5 $\mu$ m厚)*2~5 [容器番号：20番]
保存方法	常温
検査方法	免疫組織化学染色
報告様式	発現 1%未満 発現 1%以上 判定不能 ※上記の病理判定と組織所見をご報告いたします。
所要日数	6~8日*6
検査実施料	2700点*7 ([N005-3] PD-L1 タンパク免疫染色(免疫抗体法) 病理組織標本作製)
判断料	130点(病理判断料)
備考	*1：ご依頼の際は、『病理組織(特殊染色・免疫染色)依頼書』をご利用ください。 *2：スライドは剥離防止コートスライドガラスをご使用ください。 *3：組織標本の固定は10%中性緩衝ホルマリンが推奨されています。 (推奨固定時間：24~48時間) *4：薄切後4カ月以内にご提出ください。 *5：スライド枚数については、再検査用の検体も含んでいます。 *6：所要日数に再検査の日数は含まれません。また、パラフィンブロックでご依頼の場合は別途日数がかかる場合があります。 *7：抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤「ニボルマブ」の投与の適応を判断することを目的として行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定できます。